

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公開番号】特開2007-236941(P2007-236941A)

【公開日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-036

【出願番号】特願2007-53552(P2007-53552)

【国際特許分類】

A 6 3 B 53/06 (2006.01)

A 6 3 B 53/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 53/06 C

A 6 3 B 53/04 E

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月3日(2010.3.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の打撃フェース、第1のチャネルを内部に形成する第1の背面フェース、および上記第1の打撃フェースの背面に配置され第1の長さL1、第1の体積V1、および第1の質量M1の第1のインサートを有する、少なくとも1本のロングアイアンと、

第2の打撃フェース、第2のチャネルを内部に形成する第2の背面フェース、および上記第2の打撃フェースの背面に配置され第2の長さL2、第2の体積V2、および第2の質量M2の第2のインサートを有する、少なくとも1本のミッドアイアンと、

第3の打撃フェース、第3のチャネルを内部に形成する第3の背面フェース、および上記第3の打撃フェースの背面に配置され第3の長さL3、第3の体積V3、および第3の質量M3の第3のインサートを有する、少なくとも1本のショートアイアンとを有し、

L1 > L2 > L3、かつ、V1 > V2 > V3、かつM1 > M2 > M3を満たし、ソール幅が、上記少なくとも1本のロングアイアンから上記少なくとも1本のショートアイアンに移行するにつれて小さくなることを特徴とするアイアン型ゴルフクラブのセット。

【請求項2】

上記第1の背面フェースはキャビティバック構造を有する請求項1記載のクラブのセット。

【請求項3】

上記少なくとも1本のロングアイアンがオーバーサイズのクラブヘッドを有する請求項1記載のクラブのセット。

【請求項4】

少なくとも1本のクラブは上記インサートおよび打撃フェースの間に振動減衰部材が埋め込まれる請求項1記載のクラブのセット。